

令和2年度あいちラーニング推進事業研究報告書

愛知県立一宮興道高等学校

研究テーマ	生徒が「活力」をもって取り組むことのできる授業の推進	
本年度の研究目標	<p>(1) 本校の生徒にとって、自ら考え主体的に行動し、他者と協調しながら自分の意見を発信していくことは大きな課題である。生徒が各教科・科目の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造的に発信したりする力を伸ばす。</p> <p>(2) ICT 機器や生徒が活動しやすい教室環境を整えることで、主体的・対話的で深い学びをもたらす授業を組織的に行えるようにする。</p>	
研究の実施内容		
実施月日	内 容	備 考 (対象生徒等)
令和2年度 6月3日 7月16日 8月7日 9月1日、 2日 10月16日 10月19日～ 11月6日 11月2日～ 12月18日 11月27日 12月4日 12月16日 1月14日 1月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回校内研究委員会 ・第2回校内研究委員会 ・AL推進会議「研究の進め方について」助言 名古屋大学 柴田好章先生 ・職員研修「ロイロノートの活用について」講師 株式会社 LoiLo ・職員研修 「アクティブラーニングの視点による授業改善」名古屋大学 柴田好章先生 ・参観授業週間（職員間の授業見学） ・ミニ講座（総合的な探究の時間にて各講座3時間で実施。生徒は2講座を選択） ・職員研修 第60回愛知県総合教育センター研究発表会へのZoom参加 第2部会「多様な校種における情報モラルとICTを活用した授業実践の研究」、第4部会「高等学校教育課程課題研究」 ・AL推進委員の研究授業について指導案の分析・研究授業のフィードバック 名古屋大学 柴田好章先生 推進委員10名が参加 ・先進校視察 愛知県立大府高等学校（あいちラーニング推進事業研究指定校）公開授業への参加 職員2名が参加 ・先進校視察 小牧市立岩崎中学校 研究授業 第3学年理科 月と惑星の見え方 推進委員2名が参加 ・職員研修「岩崎中学校 視察報告会」名古屋大学 柴田好章先生 	3年生対象

2月2日	・アクティブラーニンググループの開設 キャスター付きの机、椅子、ホワイトボードの設置。プロジェクタの設置。	
2月9日	・令和2年度あいちラーニング推進事業 成果発表会 研究授業、研究発表、研究協議	
2月13日	・研修の受講「マルチプル・インテリジェンス活用研修」京都教育大学 村上忠幸先生 委員3名が参加	
2月27日	・「愛知文教大学・学び合う学び研究所設立記念シンポジウム 記念講演」佐藤学先生 感染防止のため中止	
3月下旬	・Webサイトによる情報発信	

研究 成 果 の 評 価 及 び 普 及 ・ 還 元 に 関 する 実 績

- ・名古屋大学の柴田好章先生を講師に招き、研究の進め方についてご指導を頂いた。
- ・生徒用タブレット端末が納入され、2月中旬にはBYOD回線が開通するなど、ICT環境の整備が進められている。これに追加する形でプロジェクタの購入を行い、特別教室まで含めて1部屋に1台のプロジェクタを常設できるよう準備を進めている。今後行われる充電保管庫の設置や、端末のWindowsアップデートなどを経て、生徒用タブレット端末を利用できる環境が整う見通しである。また、生徒が探究活動を行うのに必要なコンテンツの検討も進めている。
- ・「マルチプル・インテリジェンス活用研修」を推進委員が受講し、本校職員への報告を行った。次年度はさらにこれを進めて、マルチプル・インテリジェンスの活用を体験する研修を職員研修として実施する計画を立てている。
- ・1年目の研究内容について成果発表会を行った。緊急事態宣言により、実際に来校いただくことはできなかったものの、近隣の学校からは多くの参加申し込みがあり、あいちラーニング事業について興味を持っていただいた。また、資料を希望される学校には発表資料の送付を行った。
- ・3年生の総合的な探究の時間にて選択制ミニ講座を実施した。この講座の終了時に集計した生徒の自己評価は次の(1)(2)の通りである。
 - (1) 下記の各項目について、「1とてもそう思う」「2どちらかといえばそう思う」「3どちらかといえばそう思わない」「4そうは思わない」の4段階で評価させた。
 - ア 活動全体を通して、通常の授業と比べて意欲的に取り組みましたか
 - イ グループで活発な意見交換はできましたか(グループ活動のある授業のみ)
 - ウ 活動を通して、この教科に対する意欲は増しましたか
 - エ 活動を通して、この教科に対する理解は深まりましたか

各講座の自己評価集計

①『舞姫』(森鷗外)の鑑賞

	1	2	3	4
ア	6%	43%	49%	2%
イ	18%	43%	31%	8%
ウ	14%	41%	29%	16%
エ	12%	43%	31%	14%

②自分たちで作る国語問題の解説

	1	2	3	4
ア	37%	48%	11%	3%
イ	42%	50%	8%	0%
ウ	13%	45%	26%	16%
エ	16%	53%	23%	8%

③数学の様々な考え方

	1	2	3	4
ア	26%	34%	37%	3%
イ	26%	26%	40%	8%
ウ	18%	37%	31%	15%
エ	16%	42%	32%	10%

④グループワークによる問題分析とその発展

	1	2	3	4
ア	6%	35%	59%	0%
イ	8%	41%	44%	6%
ウ	8%	30%	38%	24%
エ	8%	40%	46%	6%

⑤English Workshop

	1	2	3	4
ア	25%	61%	9%	2%
イ	23%	56%	17%	0%
ウ	25%	45%	19%	8%
エ	20%	48%	23%	5%

⑥英語で考え、英語で表現する

	1	2	3	4
ア	17%	40%	29%	13%
イ	13%	50%	25%	12%
ウ	10%	44%	21%	25%
エ	13%	42%	25%	19%

⑦あなたならどうする、自分を考える

	1	2	3	4
ア	32%	39%	26%	3%
イ	26%	39%	32%	3%
ウ	29%	47%	16%	8%
エ	24%	47%	18%	11%

⑧Newtonを味わう

	1	2	3	4
ア	21%	52%	27%	0%
イ	22%	46%	32%	0%
ウ	17%	37%	35%	11%
エ	14%	40%	40%	6%

⑨暮らしの中の化学

	1	2	3	4
ア	40%	40%	21%	0%
イ	35%	49%	16%	0%
ウ	37%	35%	19%	9%
エ	37%	40%	21%	2%

⑩スポーツ心理学に基づくメンタルトレーニング

	1	2	3	4
ア	17%	30%	51%	2%
イ	17%	30%	40%	13%
ウ	22%	17%	43%	17%
エ	21%	29%	41%	10%

(2) 講義を終えてどんな力がついたと思うかを選択させた。(3つまで複数回答可)

- オ 資料を読む力
- カ 情報を整理・分析する力
- キ 自分の意見を表明したり人の意見を吸収したりする力
- ク 情報を収集する力
- ケ 社会の諸問題への関心を広める力
- コ 社会の諸問題の解決を考える力
- サ 学問の基礎学力
- シ 集団で作業を進める力
- ス 自らの思考を深めたりまとめたりする力
- セ グループ内の自らの役割を見つけ出す力
- ソ 言語を利用してコミュニケーションする力
- タ 語彙力

各講座の自己評価集計

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑩
オ	49%	40%	21%	70%	61%	42%	11%	40%	6%
カ	37%	55%	52%	67%	29%	52%	47%	52%	13%
キ	37%	42%	45%	25%	40%	33%	50%	22%	46%
ク	20%	21%	26%	22%	11%	19%	0%	48%	14%
ケ	6%	0%	3%	0%	32%	4%	32%	16%	16%
コ	2%	0%	3%	0%	2%	0%	18%	6%	16%
サ	18%	13%	50%	57%	8%	13%	8%	11%	10%
シ	14%	19%	11%	2%	13%	8%	42%	35%	13%
ス	37%	48%	42%	22%	37%	35%	47%	16%	62%
セ	4%	11%	2%	3%	6%	2%	13%	14%	10%
ソ	6%	24%	15%	6%	32%	12%	0%	11%	13%
タ	29%	11%	6%	2%	19%	4%	0%	11%	25%

※⑨に関しては独自のアンケートを行ったため集計には入れていない。

結果を見ると、講座による内容のばらつきはあるものの、ア～エのどの項目も、「どちらかといえばそう思う」と答えている生徒が多かった。生徒は積極的に取り組み、意欲と理解を深める結果につながったと考えられる。身につけた力には、「オ 資料を読む力」、「カ 情報を整理・分析する力」、「キ 情報を整理・分析する力」、「ス 自らの思考を深めたりまとめたりする力」を挙げる生徒が多かった。教科担当者の負担は大きかったものの、取組を肯定的に捉える生徒が多かったと考えられる。